

わかもの地域交通まちづくりサミット事業

事業実施主体

【共創プラットフォーム】
きのくに線サミット2024
(旧名称：わかもの地域交通まちづくりサミット)

【事業主体】

和歌山大学きのくに線活性化プロジェクト

地域課題

地域住民は、地域のニーズに対応していない地域交通に対し、消極的に自家用車を使う悪循環に陥っている。学生・若者が学ぶ場を設けることで、この転換をはかる。また、地域内のシーズを把握し事業を創出している人材を、最適な交通体系を模索するフォロワーとなるきっかけとしたい。

実証事業の内容

和歌山県紀南エリアを題材とし、地域づくりを学ぶ全国の大学生や若者、地域交通の活性化に取り組む学生団体、日常利用者である地元高校生等を対象とした研修型プログラム「きのくに線サミット2024」を開催。

今後の展開

他地域での同様のサミットを開き、リーダー育成を横展開することにより事業効果の波及を目指すとともに、サミットに参加する地域内の地元住民も含め主体形成(自分ごと化)を促進する。また、地域交通とまちづくりに関する講義部分をオンライン講座プログラムとして1年を通し提供するなど、人材育成の機会増を目指したい。

事業実施地域・手順

和歌山県紀南地方（みなべ町以南の11市町村）

事前プログラム	サミット1日目	サミット2日目	サミット3日目	振り返り
オンライン講義	講義・討論	フィールド実習	提言作成	具体的な行動指針
学生・若者 × 研究者 交通事業者 バイオニア人材	学生・若者 × 活性化団体 地元自治体	学生・若者 × 地元自治体 地元住民 交通事業者	学生・若者 × 地元自治体 地元住民 交通事業者	学生・若者 × 各地の 交通まちづくり (他地域への波及)
・地域交通の基礎知識を習得する ・まちづくりの基礎知識を習得する ・地域交通とまちづくりの有機的関係性を理解する	・地域自治体や交通事業者、活性化団体が協働し、地域交通をまちづくりに活用する手法を理解する ・討論と批判的理解を通じ、事例の本質を掴む	・事業実施地域の交通特性を把握する ・地域で活用できる資源を発見する ・地域住民やまちづくり人材との関係を構築する	・多様なセクターとの議論を通じ、それぞれの考えの結集点を見つけ方向性を定める ・習得した内容のアウトプットにより、応用力を獲得する	・サミットで作成した提言を自分ごと化 ・協働経験を地元や活動地域に持ち帰り応用

事業スケジュール

項目	時期
補助金交付申請	5月～6月
プログラム作成・告知・集客	7月～12月
事前プログラム(オンライン講義など)	1月

項目	時期
本プログラム(サミット)実施	2月
効果分析・報告資料作成	2月～3月
実績報告	3月